

経営比較分析表（令和6年度決算）

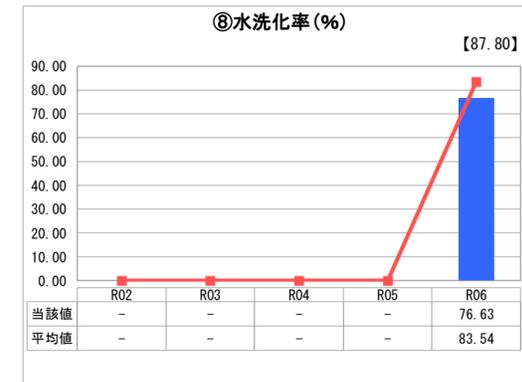
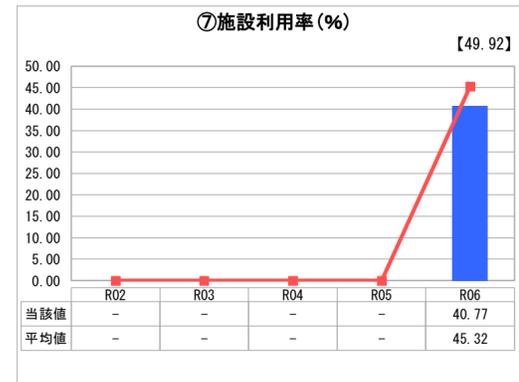
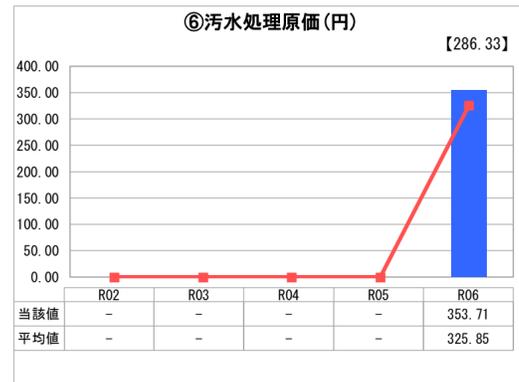
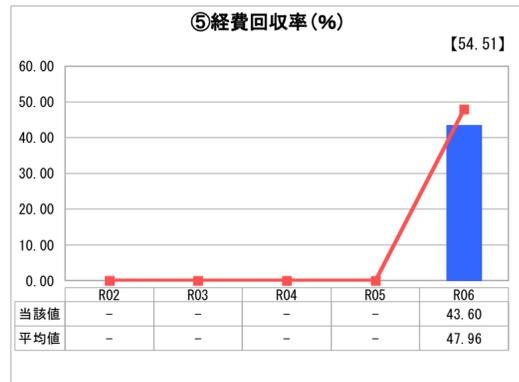
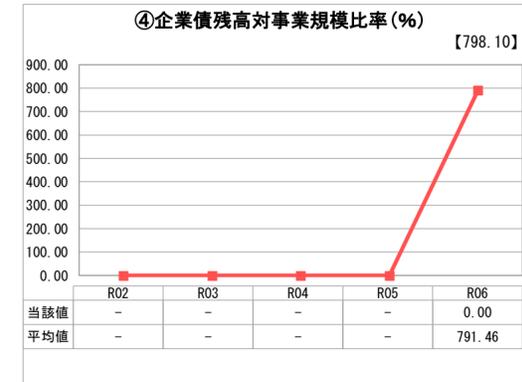
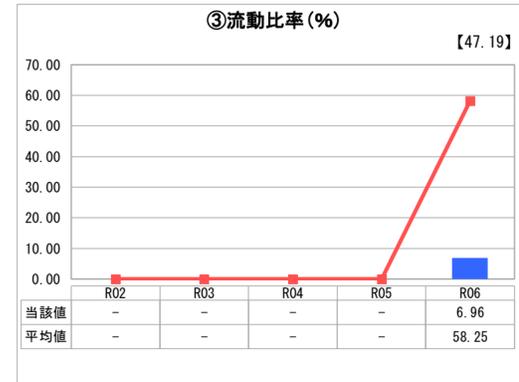
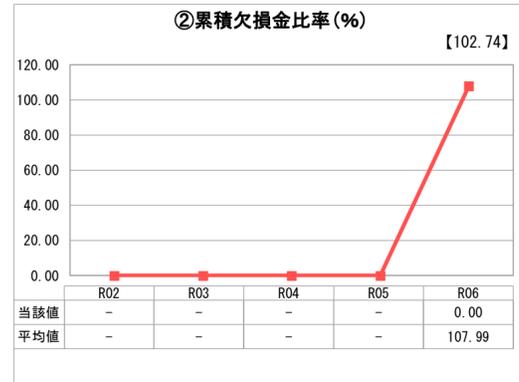
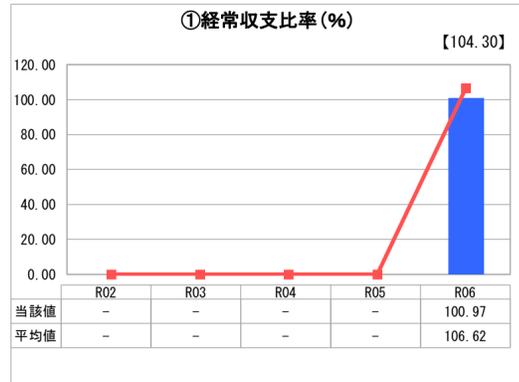
茨城県 小美玉市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	66.76	8.69	82.28	3,080

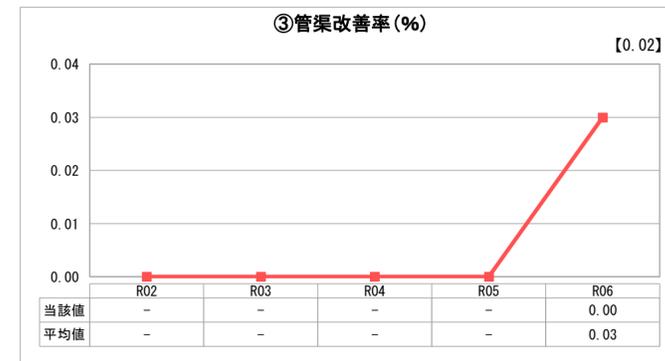
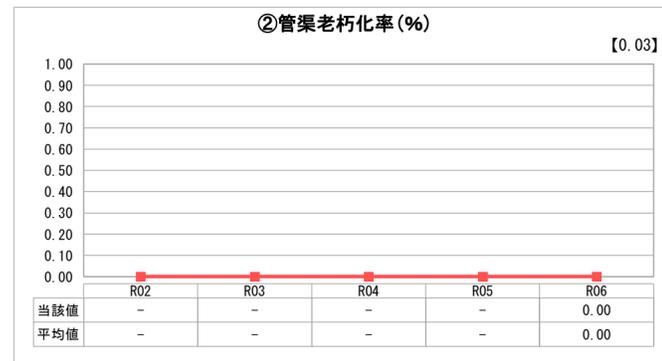
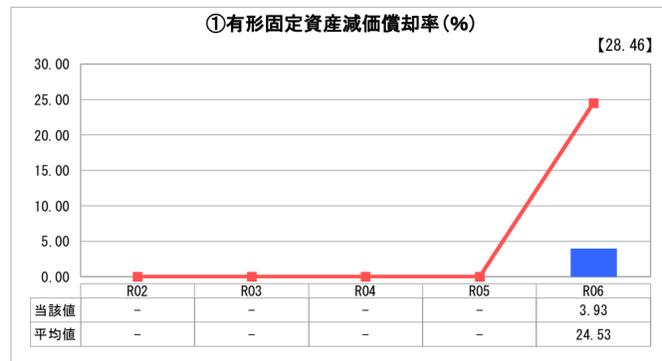
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
48,482	144.74	334.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,189	3.62	1,157.18

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率が100%を上回っているが、経常収益について一般会計からの繰入金が必要な割合を占めている。引き続き積極的な接続促進を図り、使用料収入の収益を増加させる必要がある。
- ② 流動比率が100%を下回っている要因として、流動負債には翌年度支払う見込みの企業債、未収金が含まれているが、流動資産は翌年度の料金収入が含まれていないことが挙げられる。
- ③ 企業債残高対事業規模比率は0%であるが、企業債の償還は一般会計からの基準内繰入金により100%充当していることによる。
- ④ 経費回収率は類似団体平均値を下回っている要因として、市内に4ヶ所ある処理場等の維持管理費の増加による。今後も引き続き積極的な接続促進を図ることで、さらなる使用料収入の確保、さらに汚水処理費のコスト削減に努める必要がある。
- ⑤ 汚水処理原価は類似団体平均値を上回っている要因として、経費回収率の説明と同様、維持管理費用の増加による。引き続き積極的な接続促進を図るとともに、さらに汚水処理費のコスト削減に努める必要がある。
- ⑥ 施設利用率は、類似団体平均値を下回っている。季節による処理水量の変化も見受けられる中、今後も引き続き積極的な接続促進を図ることが必要である。
- ⑦ 水洗化率は、類似団体平均値を下回っている。今後も引き続き積極的な接続促進を図ることが必要である。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は類似団体平均値より下回っているが、今後は将来的な管渠や中継ポンプ場等の老朽化を見据え、計画的かつ効率的な維持管理に取り組む必要がある。
- ② 管渠の改善は、供用開始から10年以上経過している処理施設もあることを踏まえ、点検調査等により改修等の優先順位を決定するなど、計画的かつ効率的な維持管理に取り組む必要がある。

全体総括

農業集落排水施設の機能停止は、住民生活に多大な影響を及ぼすことから、管渠や処理施設等の将来的な老朽化を見据えた機能診断を実施するなどし、計画的かつ効率的な改修等、適切な維持管理を実施することが重要である。

また、これらに向けた財源の確保、また職員給与の増加や物価高騰等によるコストの増加が大きな課題となることから、今後も引き続き、使用料収入の収益増に向けた積極的な接続促進や、急速な人口減少によるサービス需要の低下を見据えて公共下水道事業との広域化・共同化を図るなど、適正な財源の確保や維持管理費用の削減に努めることが非常に重要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。